

クリーンエネルギー向け予算を排出権取引で捻出（米国）

バラク・オバマ大統領は、2月26日に2010会計年度^{注1}の予算案の大まかな骨子を発表した。予算案では、クリーンエネルギーの開発を、10年に渡り毎年150億ドル投入して支援することになっており、その財源を温室効果ガス(greenhouse gas: GHG)排出権の販売に求めている。資金は経済全般にわたるGHG排出プログラムの通過にかかっている。オバマ政権はこのプログラムの下で、米国のGHG排出を、2020年までに2005年対比で14%、2050年までに2005年対比で83%削減することを目指している。提案されているキャップ・アンド・トレードプログラム^{注2}では、すべてのGHG排出権はオークション^{注3}にかけられることになっており、2012会計年度に787億ドル、その後着実に増えて、2019会計年度には830億ドルの追加収入をもたらすと推定されている（予算案にはこれ以上の記載はないが、おそらくはこれを超える可能性がある）。大統領の予算案では、これらの資金[GHG排出権のオークションから得られた資金]のうち、年間150億ドルをクリーンエネルギー技術に回し、残りを減税[の財源]に回すとしている。オバマ大統領によれば、クリーンエネルギー用の資金は、「風力発電や太陽発電のような技術の開発や、より効率のよい車両やトラックのアメリカでの開発」に使われる予定である。詳細については、大統領の予算に関する発表^{注4}、および大統領の予算案^{注5}の21ページ、100～101ページ、115～116ページ、123ページを参照のこと。

予算案によれば、エネルギー省(Department of Energy: DOE)の2010会計年度の予算は263億ドルで、2008会計年度用に議会承認された額より10%増加している（議会は現在、2009会計年度予算の承認作業を行っている^{注6}）。この資金は、2009年アメリカ再生・再投資法^{注7}で供与される資金（エネルギープログラム向けに390億ドル）とは別に提供される。大統領の予算案はDOE向け資金の内訳を示していないが、予算案は、革新的エネルギー技

注1 2009年10月～2010年9月

注2 国としての排出量の上限（キャップ）が予め決められている方式。欧州連合(EU)の制度が代表的。現行のEUの制度では企業や工場単位でも排出量の上限が割り当てられているが、EUではこれを近い将来オークション方式にしようとしている。

注3 個別の企業や工場は年度の初めに政府から排出権を入札で購入する。国がオークションに出す総枠には上限があるので、例えば安値で入札したために必要な量の排出権を入手出来なかった企業はその不足分を市場で調達することになる。オークションの収入は政府の歳入となるので環境税の変形とも言えるが、環境税が予め税率が定められているのに対し、オークションでは市場メカニズムで政府の収入が決まることになる。

注4 Remarks by the President on the Fiscal Year 2010 Budget, 26 February 2009
(http://www.whitehouse.gov/the_press_office/Remarks-by-the-President-on-the-Fiscal-Year-2010-Budget/)

注5 A New Era of Responsibility: Renewing America's Promise
(http://www.whitehouse.gov/omb/assets/fy2010_new_era/A_New_Era_of_Responsibility2.pdf)

注6 上下両院を通過し、3月11日にオバマ大統領が署名して正式に成立した。

注7 American Recovery and Reinvestment Act of 2009

術に対する借入保証だけでなく、クリーンエネルギー技術（バイオ燃料、再生可能エネルギー、エネルギー効率を含む）の研究、開発、実証、導入、商業化促進という点で際だっている。予算案はまた、5,000万ドルを米国内務省に割り当て、公有地での再生可能エネルギー開発を支援するのに必要な資源評価、環境評価、および技術研究を実施する予定である。詳細は、大統領の予算案の63～64ページ、および79ページを参照されたい。

「オバマ大統領の予算は、アメリカが直面している課題を率直に、正直に受け止めつつも、赤字縮小をもたらすために困難な選択をした結果なのです。同時に、クリーンで再生可能なエネルギー源を支援して、私たちの経済の未来に投資するものです。これにより、アメリカ国民を仕事に復帰させ、その一方で、外国の石油に対する危険な依存に終止符を打つのです。この予算で画期的な研究に投資し、家庭や企業をよりエネルギー効率的にし、太陽、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーを導入することにより、世界規模の経済、エネルギー、および気候変化という問題への取り組みで、アメリカを再び確実に主導的立場に戻すことができます。」とDOEのSteven Chu長官は語った。詳細は、DOEのプレスリリース^{注8}を参照のこと。

翻訳：吉野 晴美

出典：President's Budget Draws Clean Energy Funds from Climate Measure
(http://apps1.eere.energy.gov/news/news_detail.cfm/news_id=12273)

^{注8} Statement of Energy Secretary Steven Chu on President Obama's Budget Blueprint, 26 February 2009 (<http://www.energy.gov/news2009/6952.htm>)